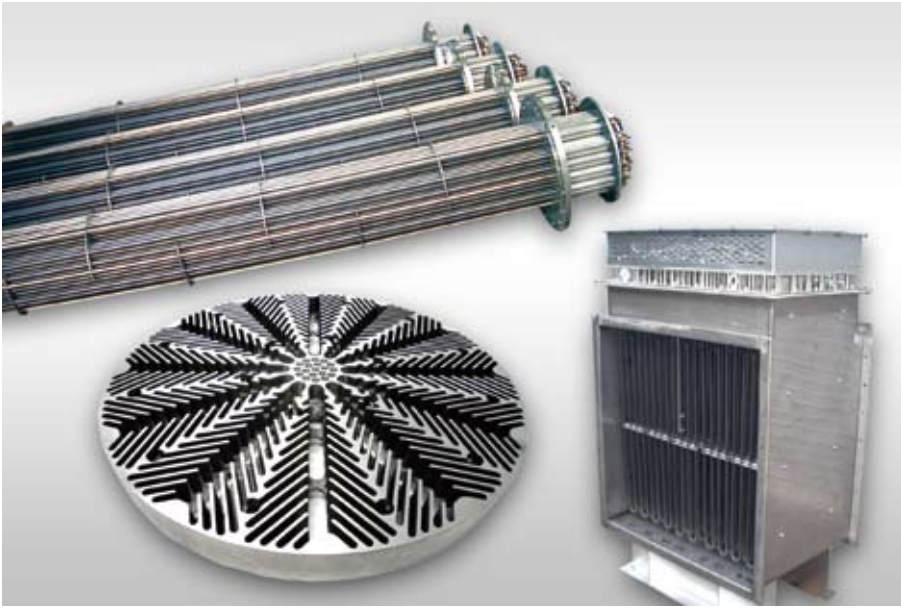


海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイainジャパン 試作可小ロット 量産対応



バラエティー豊かな製品群。独自の熱加工技術でさらなる飛躍をめざす

新日電熱工業株式会社

負荷変動を敏感に察知し
常に均一な温度を保つ
プレートヒーターを開発

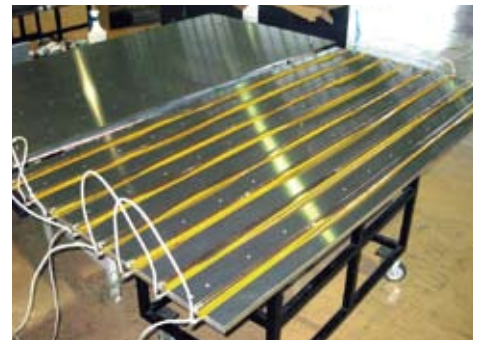
製造ラインに組み込まれる
「縁の下の力持ち」的存在

何を作っている工場であっても、多岐にわたる製造工程の中には、必ずといっていいほど「熱の力」を必要とする工程がある。あらゆる製造現場でラインに組み込まれる工業用電熱ヒーターの世界で独自の技術を誇り、さまざまな製品を開発・製造しているのが新日電熱工業だ。

「液晶テレビや太陽電池用のパネルに使用されるほとんどの部品は電熱ヒーターを使って成形していますし、合成樹脂製品の製造現場においても電熱ヒーターの存在は必要不可欠。生産ラインの中に組み込まれるので目立つ存在ではありませんが、当社の開発した製品はあらゆるものづくりの現場で活躍しています」と同社。製造物や現場の状況によって、電熱ヒーターに求められる性能も千差万別だ。それぞれの顧客が求めるニーズを漏れなくカバーするため、製品はおのずと受注生産がメインになる。シーズヒーターやプラグヒーター、フランジヒーターといった単体物や、それらを組み合わせて応用化したサーキュレーションヒーター、ダクトヒーターなど同社の製品は実にバラエティー豊か。その製品群は顧客の声に忠実に耳を傾け、技術を磨いてきた何よりの証でもある。

繊細な液晶パネル製造を支える唯一無二の技術力

ここ数年、同社が特に力を入れているのが、液晶パネル製造装置に用いられる



ヒートパイプ式アルミプレートヒーター

電熱用ヒーターの開発。繊細な液晶パネルだからこそ、箇所よりの温度差が少ない精巧なヒーターが求められる。それをカタチにしたのが、パイプ内に作動液が飽和蒸気圧の状態に密封された「ヒートパイプ式プレートヒーター」。温度差が生じると、高温部から低温部へと蒸気流が発生し、全体の温度バランスを即座に均一にするシステムを搭載している。潜熱による熱輸送を行うので熱伝導率が高く、その値は銅の100倍以上というから驚きだ。ヒーターメーカーは全国にあまたあるが、液晶関連メーカーと取り引きがある会社はわずか数社というだけに、同社の類まれなる技術力の高さがうかがえる。

「今後もヒーターに軸足を置いた地道な開発製造を続け、ものづくりの現場を根幹で支えていきたい」と語る同社。熱とその制御を核とするプロフェッショナル集団は、その歩みを着実に次のフィールドへと進めている。

Company Profile

新日電熱工業株式会社

大阪22

住所 〒581-0854 八尾市大竹3-119-1
TEL 072-943-5100
FAX 072-943-5211
設立 昭和44年7月4日
資本金 2,000万円
従業員 107名
代表取締役 松本 幹雄

■主な事業内容
工業用ヒーター製造販売

■主な取引先
化成品、機能性樹脂、発泡樹脂製品等の化学メーカー、機械部品加工会社等

<http://www.snd-net.co.jp>

他社には負けない

当社のもづくり
セールスポイント



代表取締役 松本 幹雄 さん 常務取締役 小川 徳廣 さん

最先端ニーズに応えられる環境づくりに注力します

「最高のレベルの製品を安価に、タイムリーに」をモットーに、より顧客に信頼されるメーカーをめざします。今後は優秀な人材の育成と、社員が安心して働ける環境づくりに今以上に力を入れていきたいと考えています。